

2019 課題部会研究協議会

“協働”研究の成果を日々の実践に生かしましょう！



今年度の課題部会研究の成果の一端を紹介しています。詳しくは、各部会のレポート集をご覧ください。研修センターで保管しているレポート集も貸し出しできますので、お気軽にご連絡ください。

各部会の“協働”研究の成果を全会員で共有し、一人一人の研究に対する意欲を高めるとともに、新たな課題を見だし、より一層実践の質を向上させていけたらと考えています。

道徳

小学校、中学校に分かれて協議することで議論が深まりました。各校の実践発表に具体性があり、今後の授業づくりに生かせる内容が多くありました。提出されたレポートすべてが部会としての財産となる素晴らしいものでした。多くの先生が実践発表をし、交流できたこと、教科書を用いた授業づくりによって、先生方が同じ視点で考えることができた点は、今回の成果だと思います。これからはよりテーマを絞り（発問・ワークシートなど）深い交流ができたらと考えています。ぜひレポート集を参考にしてください。

教育課程

理論研修会では、これからの社会像ということで「Society 5.0」について共有を深め、外国語教育、道徳教育、プログラミング教育のそれぞれについて、概要から評価等実践的な内容にかかわる研修を受けることができました。また、新学習指導要領の全面実施に向けて、今回のキーワードになる「何ができるようになるか」「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」について、再確認することができました。ぜひ資料やレポート集をご覧ください。

特別支援教育

通常学級における児童生徒または、教師間、他機関連携の方策について具体的な実践交流内容を深める事ができました。「教室は支援でいっぱい！いろいろあって、あたりまえ」など今後の実践に生かすことのできるレポートも多数ありますので、ぜひ参考にしてください。

また、分科会交流後にテーマ別交流内容を選択し、小グループで交流することで、課題解決方法の具体策を検討しあうことができ、有意義な研究協議会となりました。

国際理解教育

研究課題、研究内容をさらに深める意味も込めて、「SDG's」についての講演会を行いました。また、研究課題に沿ったワークショップを準備してもらうことができ、レポート交流は行いませんでしたが、しっかりと討議し、研究を深めることができました。より多くのワークショップを経験し、その後の討議の時間を多めに設定したことで、今後の実践に活用できるような経験として紹介することができました。次年度につながる研究協議会となりました。

人権・平和

8月に行った実技研修会では、平和を題材にした劇の指導法をテーマに平和教育・人権教育を実践するための視点を広げることができました。（研修センターHPに終了報告書をUPしていますので、ご覧ください。）

研究協議会では、平和を考える週間や平和集会の取組など日頃の実践を交流することができました。また自身の考えを伝え合ったりする中で、多様な考えに触れることができ、今後の実践に生かすことができる内容となりました。参考となるレポート集ですので、ぜひご覧ください。

安全・健康

防災・減災の考え方として、被災した子どもたちへの「心のケア」が大切だということや「アンバーサリー反応」への対応が必要だということを通認識することができました。

理論研修での、「心のケア」と「アンバーサリー反応」への対応の必要性について、ぜひ各学校に環流したいと考えます。また、胆振東部地震の現場での様子やその後の取組を知るとともに、各校の実践レポートを交流することで、部会員一人一人が自分の学校に照らし合わせて、今後の改善点を考えることができました。ぜひレポートをご覧ください。

情報教育

プログラミング教育についての理解を深めるものや、子どもたちへの実践が多数あり、今日的な課題に取り組み、研究の深まりを感じることができました。

ICTを活用した授業づくり、プログラミング教育の円滑な実施に向けた支援、ロボットを使ったプログラミング教育など今後を生かせるレポートがありますので、ぜひ参考にしてください。

学びや発見につながり、各校の情報教育の技術革新の手助けとなる研究協議会となりました。

生き方

第1分科会では、パラスポーツを通してユニバーサル視点を持つことができました。また、教師だけの世界にとどまらず異業種の人達とつながりを持つことは、偏りがちな私たちの思考の幅を広げてくれるので大切だと考えます。講演では、新しい情報などもあり、パラスポーツやアダブテッドスポーツへの意識を変えることができました。

第2分科会では、講師の主導のもと充実した討議及び交流ができました。障がいとは住んでいる環境によって変化していくことやコミュニケーションの力を高める手法、傾聴、具体的な手法を体験的に教えて頂きました。

集団づくり

子どもどうしのつながりを生み出して集団を高めていくという考えや方法について学びを深めることができました。また、より良い集団を築いていくための工夫や実践を学び合い、日頃感じている課題を共有するとともに、解決するための集団づくりにおける考え方を深めることができた協議会となりました。掃除当番の工夫、小中連携、日常活動の振り返り、児童会・生徒会活動、Q-Uの活用など参考になるレポートが多数ありますので、ぜひご覧ください。

生徒指導

午前中の理論研修会では、児童養護施設の実態について具体的に説明いただき、様々な児童生徒に対応する学校現場の実情と照らし合わせて考えることができました。他機関との連携を考えるにあたり、今後も他機関からの情報収集が大切であると感じる研修会でした。また分科会では、Yチャートを使用してのグループ討議により、現在抱えている生徒指導事項について交流し、指導法について研究を深めていくことのできる活発な協議を行うことができました。各校実践レポートをぜひご覧ください。

環境教育

ごみ処理について、実際の現状を把握することができました。特に、昨今話題である「マイクロプラスチック」について研鑽を深めたいという部会員のニーズを始め、一人一人が問題意識を高めて参加できる協議会となりました。

現場における最新の情報や具体的な現状を把握したいというニーズに応えることができました。「施設見学」を通して、進んだ技術や将来の展望について意見交流ができたことは、大きな成果となりました。今後の実践に生かしていきたいと思えます。

へき地・複式教育

全体会では、へき地8校の実態や特色を把握し、今後の活動や実践につなげられる内容となりました。また分科会を細分化することで、部員が日常抱えている課題を具体的に交流し、その解決の方策を共有することができる機会となりました。地域性や学校事情、課題に即した取組や指導の大切さ、一人一人個々の発達に即した指導の重要性を共有でき、さらには子どもの自主性を育てる指導方法やその考え方を協議し、実践に生かせる研究協議会となりました。

文化活動

第1分科会と第2分科会の合同開催でアイヌ文化に関する講演を行いました。アイヌ語での朗読を実際に聞いたり、絵本ができるまでの過程を聞いたりすることができました。また、千歳市立末広小学校がアイヌ文化学習をどのように教育課程に位置付けて取組を推進しているかを学ぶことができました。今後、各学校の実践として、どのように取り組んでいくかを考える機会となりました。

各分科会の研究に関する実践レポートも多数ありますので、ぜひご覧ください。

石教研HPにも、研究協議会当日の各部会の様子が紹介されています。ぜひ各部会のHPをご覧ください。また、部会のレポート集は、研修センターに保管しています。ぜひ有効にご活用ください。

来年1月31日発行予定の『石狩の教育』第65集では、各部会の研究成果を掲載します。今後の実践の参考にしてください。